

米日教育交流協議会代表 丹羽筆人

# 在米親子にアドバイス

日米の教育事情

日本から来た子どもの現地での学習

現地校では新年度が始まりました。この時期に合わせて、日本から多くの子どもたちがやって来ます。異なる環境にて外国

## 渡航後すぐに日英両語をバランスよく学習することが大切

語で学ぶことは大変です。なかなか馴染めないというところもあるでしょう。帰宅後は温かく迎



英語の上達には現地校での友人との交流も大切

えてあげたいですね。近年、日本からやって来る子どもが低年齢化し、乳幼児や小学校低学年児が目立ちます。帰国後に備えて、すぐに補習校や日系の教育機関などで日本語での学習を進める方も多いのですが、中には、日本語学習はさておき、まずは英語学習を重視されるという方もおられます。平日に現地校や現地の教育機関に通えば、自然に英語は身につくのですが、そういう方は家庭でも英語を使って過ごそうとされます。確かに、英語力の向上のためにはその方がよいかもしれませんが、日本語力が伸び悩んでしまう可能性もあります。例えば、幼児期にあまり日本語を

使わないでいて、小学校から補習校に入学しようとしても、すでに日本語での学習についていけない状況となっていることもありますので注意が必要です。一方で、数は多くはありませんが、日本から高校生の年齢でやって来る子どももいます。その場合、現地の高校に入学しますので、かなり苦勞をしているケースが目立ちます。日本国内でTOEFLやTOEICなどの対策学習をしておらず、日本の中学や高校で英語を学んだだけだと、現地の高校の学習には太刀打ちできません。外国人の多い高校では、ESLのような外国人生徒のための英語のサポートをするクラスを設置してい

ますので、単位の取得や進級、卒業が難しいということはありません。ただし、英語力が伸び悩むという問題もあります。帰国生の大学入試では、英語力が合否の決め手になる大学もありますので注意しましょう。もちろん、日本語で大学入試問題を解くことのできる力、つまり日本の高校での履修内容を修得するための学習も必要です。海外で暮らす場合には、日本語と英語とをバランスよく学ぶことが大切です。

(次回は10月第4週号掲載)

米日教育交流協議会のウェブサイトに、当コラムのバックナンバーもお読みいただけます。  
JUEEC Website: www.jueec.org